

科目名	解剖学 3							年度	2025		
英語科目名	Anatomy 3							学期	前期		
学科・学年	柔道整復科 2 年次			必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	砂川正隆			教員の実務経験		有	実務経験の職種		歯科医師		
【科目の目的】											
医療を志す者にとって基本的な学問であり柔道整復師として人体の構造を立体的に把握できることを目的とする。											
【科目の概要】											
人体各器官の存在場所や特徴を学び解剖学を統括します。											
【到達目標】											
人体構造の系統を把握し、人体の正常構造について統合的に理解し、器官と部位の解剖用語を理解する。器官の三次元的関係を把握し、画像解剖学と対応させながら、説明でき、単に人体部位の名称の羅列ではなく、有機体としての人体の構造を自然科学の視点で捉え、基礎科目・臨床科目の学習の基盤となりうる、知識の基礎を身につけることを到達目標とする。											
【授業の注意点】											
医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力						
到達目標 A	感覚器系について完全に理解している。	感覚器系について大体理解している。	感覚器系について部分的に理解している。	感覚器系についての理解がやや不足している。	感覚器系について理解していない。						
到達目標 B	体表解剖の骨格系と筋系について完全に理解している。	体表解剖の骨格系と筋系について大体理解している。	体表解剖の骨格系と筋系について部分的に理解している。	体表解剖の骨格系と筋系についての理解がやや不足している。	体表解剖の骨格系と筋系について理解していない。						
到達目標 C	体表解剖の脈管系と神経系について完全に理解している。	体表解剖の脈管系と神経系について大体理解している。	体表解剖の脈管系と神経系について部分的に理解している。	体表解剖の脈管系と神経系についての理解がやや不足している。	体表解剖の脈管系と神経系について理解していない。						
到達目標 D	体表解剖の生体計測について完全に理解している。	体表解剖の生体計測について大体理解している。	体表解剖の生体計測について部分的に理解している。	体表解剖の生体計測についての理解がやや不足している。	体表解剖の生体計測について理解していない。						
到達目標 E	映像解剖について完全に理解している。	映像解剖について大体理解している。	映像解剖について部分的に理解している。	映像解剖についての理解がやや不足している。	映像解剖について理解していない。						
【教科書】											
教科書（解剖学-社団法人全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】											
試験と課題を総合的に評価する。											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

